

潮寿荘だより



石黒

潮寿荘

平成30年6月16日発行
発行：特別養護老人ホーム
潮寿荘
記事：6月担当潮寿荘職員
編集：潮寿荘だより編集委員
題字：石黒祐典(51歳)



鍋会食の寒い冬が終わり、野外食の季節になりました。

6月4日、天候に恵まれ空は快晴、気温は26℃と初夏の陽気が漂うなか、今年度1回目の野外食は北海道の郷土料理でもある「鮭のちゃんちゃん焼き」で始まりました。

野外で炭を起こし、鉄板の周りを囲むようにテーブルを置き出来上が



山菜採り
とってもはっぴい

私、松野は3月から7月まで休みの日は一人で山に入り3月はキトビロ(行者葫) 4月はボナ(ヨブスマソウ)、(こ)み(草ソテツ)これは天ぷらが非常に美味しい。5月はしどけ(紅葉がさ) タラの芽、ウド、5月末からは笹筍、これもまた何をしてを待つ入居者さん。味噌の焼き上がる香ばしい香りと熱々のちゃんちゃん焼きを楽しんでもらえる「鉄板焼きオーブンクッキング」にて調理。豪快に、鮭、キャベツや人参などの野菜たちを焼き上げ、目の前に温かいちゃんちゃん焼きが運ばれてくると「美味しいそう」と皆さん笑顔ですぐお食事開始。花見以来の野外での食事で少しピクニック気分を味わえたのか、みなさんいつも以上の食欲で、おにぎりや芋の塩煮やデザート、汁物もあるのですが、他の物には目もくれず3杯目のおかわりをされている入居者さんもありました。ちゃんちゃん焼きだけだと少しよっぱいのは、と思うのですが、今年第1回目の野外食は皆さん大満足で終えることができました。今後の野外食、「流しそうめん」や「流しラーメン」も楽しみます。(運動・ダイエット決心だけで終わってしまう自分探し中栄養士・高木)

食べても非常に美味しい。今年は介護士斎藤(猟銃ハンター)に山菜採りに連れて行ってと頼まれていたが、休みの合う日はことごとく雨。ハンター斎藤は雨男。5月7日によやく晴れて、朝7時集合。今日のターゲットは「しどけ」と「タラの芽」山へ出発。目的地「秘密の松野農園」到着。ハンター斎藤、鹿や熊も撃つぞと猟銃背負って収穫開始。すると、悲鳴……奇声、熊も逃げ出すほど「きゃ〜ハッハ」なんじゃ〜こりや〜「ありえね〜」「しどけの楽園じゃ〜」「キャッキャッキャ〜」はしやぎまくるハンター斎藤。まるで遊園地に居るかのよう。次は何やら念仏が聞こえてくるではないか。幻聴? 斎藤のせいで頭がおかしくなったのか? ……近所のお坊さんが、お地蔵さんを拝み歩いていただけだった。2時間位で「しどけ」をショッピングバスケット8個、タラの芽を30cmザル1個と大収穫。次の休みは、熊泊山と泣面山へタケノコ取り。次に悲鳴を上げるのは私かも? (昼休みも山に入り山菜採りに夢中。少年おじさん庶務主任・松野)



🏠 厨房スタッフも昼休みは山菜採り。今日はワラビを採りました!

入居者さんと
介護士の♡♡♡



6月20日で
20歳になる介
護士の泉慶佑
です。潮寿荘
ではセンサー
という計算
機のことわざの
問題が解いてもらうレクリエーショ
ンがあります。クリ子さんは問題を
用意した職員ですら解らないことわ
ざの問題を答え、逆に職員に教えて
くれる物知りで知的な方です。

そんなクリ子さん、5月上旬に行っ
た花見で大好きな娘さん手作りの梅
酒を飲んでいました。その何日か後
にお茶出しをしていた僕が「クリ子
さん梅酒ですよ」とお茶をお渡しす
ると「いや、嬉しいね」と言っ
て下さいます。その後クリ子さんの顔
を見るとほんのりほっぺたが赤くな
っており「大丈夫ですか？」と聞くと
「少し酔ってきたよ」と話される
ので「ごめんなさい、実はただのお
茶でした」と正直に言う。「あ、気
分良いわ」と満面の笑みを浮かべて
下さるクリ子さん。それからクリ子
さんにお茶を出すときは必ず「梅酒
入ってるのかい？」などと笑いなが
ら話してくれるクリ子さんに日々癒
されています。ビールが大好きな僕



ある朝のミヨ
さんとの出来
事についてお
話します。
いつもは話し
かけるのを首を
縦や横に振っ
て答えて下さ
るミヨさん。その日の朝すごく気分
が良かった私はすごく大きな声でミ
ヨさんに「おはようございます」と
挨拶をしました。するとミヨさん
は微笑んで「おはよう」と言っ
たのです。嬉しくなった私は大き



つるみさんはい
つも穏やかに過ご
されており、怒っ
たりしている姿を
見たことがありま
せん。職員の事を
「先生」と呼び、
お茶を配るとか些細な事をした時
も「先生ありがとう」ととても丁寧
に言われます。お手洗いでお手伝い
した時も「一番偉い先生、いつもあ
りがとう」と言っていただけです。
普段は先生と呼んでくれるつるみさ
さんです。梅酒で乾杯するのが夢の二十歳の介
護士、泉でした。

（毎年20歳になったと言ってるのにお酒を飲んでいる介護士・泉）

な声でしばらく話しかけていました。
笑顔で答えてくれていたミヨさんで
すが私のしつこさに限界がきたので
しよう。「うるさい」と叱られてしま
いました。慌てて謝ると笑顔で許し
て下さる優しいミヨさん。私もそん
な心の広い人になりたいという思い
と入居者のために程よく声を張って、
体を張って頑張ろうと、思いを新た
にした朝でした。

（ダイエットをあきらめ一食で米二
合を平らげる介護士・高島）

福祉社会
夏祭り
7月28日(土)
6:30~8:00
花火は7:40位から



7月のよひ

2日 流しラーメン

6日 誕生会

7日 七夕

夕方 5:45~6:30

11日 特別喫茶

16日 流しうどん

28日 夏祭り

お菓子もいろいろ用意して
行きますよー☆
送迎バスも巡回しています。

んに違った呼ばれ方をした時の事を
紹介します。私が夜勤でつるみさん
の介助のため声をかけると「母さん
今日は仕事休みですか？」とおっしゃ
います。深夜で周りも暗く、当時私
の髪も長めだった事もあり勘違いし
てしまったのだらうと思ひ、普段よ
り低めの声で「私は母さんじゃなく
て職員ですよ」と返事すると「何言
ってるか分からねえ、母さんは母さ
んだあ」と言われてしまいました。
こんなむさ苦しい、声の低い男が母
さんというののもどうなんだろうかと

思いつつ「今日は仕事休みだからゆ
っくり休んで下さいね」と母さんの
体で答えると「んだか」と笑顔で答
えられ納得された様でした。次の朝
に起こしに行つた時はいつも通りの「先
生」と呼ばれ「母さん」と間違われ
ることはありませんでした。今はも
う髪を切ったので、これから先私が
母さんと呼ばれる事は無いでしょう
が、たまには違う呼ばれ方をするの
も楽しいものだと感じました。
（飲まなそうなのにな家ではワンラン
ク上のお酒をたしなむ介護士・渡辺）